

あおもり 国際交流つうしん

AOMORI INTERNATIONAL EXCHANGE JOURNAL

3月15日(金) 交流型日本語教室 (中泊町)



目次

CONTENTS

- 02/ 多文化共生：青森県多文化共生推進プラン策定
- 03/ 多文化共生：令和5年度交流型日本語教室開催状況
- 04/ 外国人相談窓口：令和5年度外国人相談窓口の相談状況
- 05/ 外国人相談窓口：青森県外国人相談窓口からのご案内
- 06/ JICA海外協力隊募集説明会
- 07/ AOMORI GOKAN アートフェス2024

青森県多文化共生推進プランが策定されました

Multicultural Symbiotic Society Promotion Plan Formulated by the Aomori Prefectural Government

近年、本県では、人口減少や少子高齢化が進む中、技能実習生をはじめとする外国人住民が増加しており、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくような多文化共生の地域づくりの必要性が一層増しています。

そのため、この度、県では多様な文化を尊重した活力ある共生社会の実現に向けて、行政、地域の国際交流協会及び外国人支援団体等が連携しながら「青森県多文化共生推進プラン」を策定し、多文化共生に関する施策を総合的かつ効果的に推進することとしました。

実施
期間

令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間

詳細はQRにて
ご確認ください。推進
体制

本プランの実現に向けて、県、市町村、国際交流協会、NPO等外国人支援団体、企業、教育機関が相互に連携を図り、多文化共生施策を推進する。

01

コミュニケーション支援

外国人住民を雇用する企業やNPO等と連携した日本語教育、外国人住民の人数や国籍等に応じた多言語対応の支援

02

生活支援

外国人住民が地域で生活する上で必要となる生活全般の支援（教育・労働・災害・医療・子育て・住宅など）

03

意識啓発と社会参画支援

外国人住民の孤立や日本人住民との軋轢の解消に向けた地域社会の意識啓発、外国人住民の社会参画支援

04

地域活性化の推進やグローバル対応

外国人住民の強みや視点を生かした地域活性化・グローバル化、外国人住民の人材発掘、留学生の県内就職の推進

内容

（報告）青森県多文化共生推進プランの策定に向けた実態調査の結果について

県では、本プランを策定するに当たり、県内在住の日本人及び外国人の多文化共生に係る現状や課題等を把握し、プランの策定に向けた検討材料とするため、実態調査を実施しました。

01 日本人住民向け調査

アンケート回答 706件

対象

県内の自治会、町内会代表、大学生ほか

課題など

- 「多文化共生」の認知度向上に向けた意識啓発等が必要である。
- 日頃の挨拶や地域行事等への参加など双方のコミュニケーションや地域社会への参加を求めるニーズが多い。

02 外国人住民向け調査

アンケート回答 511件

対象

技能実習生、留学生、日本語学校・教室の生徒、外国籍児童・生徒の保護者、JETプログラム参加者ほか

言語

やさしい日本語、ベトナム語、中国語、タガログ語、韓国語、英語、インドネシア語

課題など

- 多言語化対応や会話、挨拶など言葉に関するニーズが多く、日本語能力不足が生活面の不安、悩みの大きな原因となっている。
- 物価が安いという意見が多い反面、給料が少ないなど、生活と就業の環境整備に関するニーズが多い。

03 事業者向け調査

ヒアリング回答 20件

対象

外国人労働者を雇用する県内事業所

課題など

- 外国人労働者の雇用は人手不足等に効果がある一方で、言葉やコミュニケーション、住宅確保など多様な課題を抱えている。
- 外国人労働者が退職、転職して都市部に流れる事例が多く、県内定着に向けたコミュニケーションや生活支援が求められている。

令和5年度青森県における日本語教室起点事業について（実績報告）

About the Japanese Classroom Startup Project in Aomori (Annual Report)

01

交流型日本語教室及びオンラインにほんごカフェ実施状況

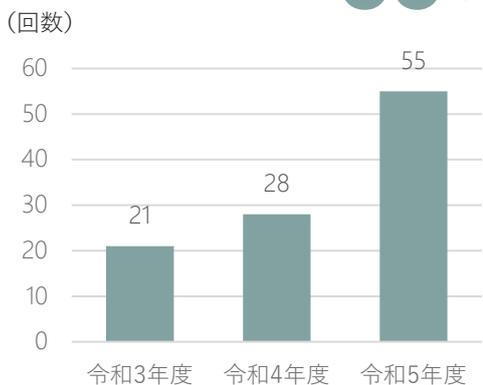
About the Conversation-centered Japanese Class and Online Japanese Cafe (Annual Report)

青森県に暮らす外国人住民と地域住民とが繋がりをもって、安心して暮らせる地域社会づくりを推進するために、お互いが対等な関係のもとで、対話による交流を通して、日本語の勉強を支援する「交流型日本語教室」を令和3年度（2022年度）から県内4地域のほかオンラインで開催しています。

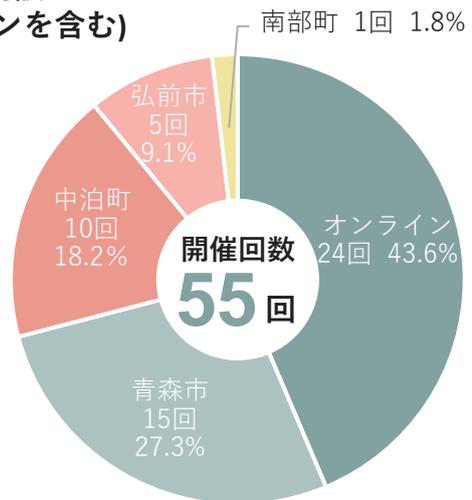


令和5年度交流型日本語教室
(オンラインを含む)開催実績

55 回



市町村別内訳
(オンラインを含む)



02

令和5年度日本語学習サポーター養成事業について（実績報告）

About the Japanese-Learning Supporter & Partner Development Project (Annual Report)

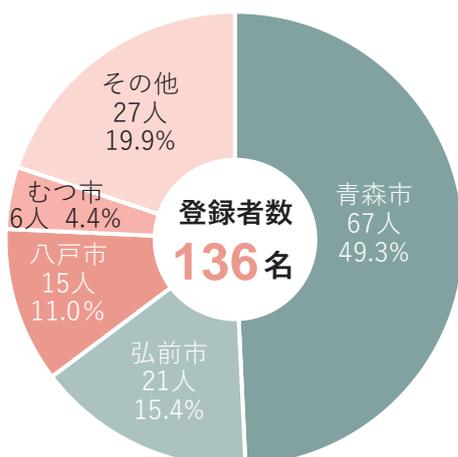
サポーター養成講座は、3年間で青森県内に100名の日本語指導のできるサポーターを養成することを目的に、青森大学と連携し、同大学の「日本語教員養成プログラム講座」の一部を青森県観光国際交流機構で開催することとし、2019年度にスタートしました。現時点で計23自治体（県外へ移住された方を含む）に在住する136名のサポーターを養成しました。

パートナー養成講座は、コミュニケーションに必要な基本的な内容を始め、日本語を学習する外国人に「寄り添う」ことに必要な知識は何なのかを学び、実践（実習）を通して、学んだことを確認します。養成講座修了後は、県内4地域で開催している「交流型日本語教室」等において活動を行なっています。

日本語指導サポーター登録状況
(令和5年度末時点)

136 名

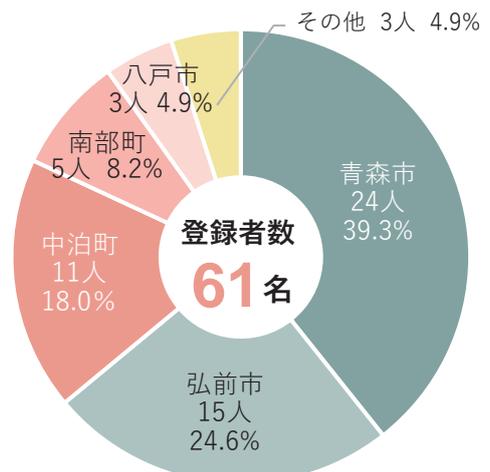
市町村別内訳



パートナー登録状況
(令和5年度末時点)

61 名

市町村別内訳



令和5年度青森県外国人相談窓口について（年度報告）

About the Aomori Prefecture Foreigner Consultation Service Counter

01

令和5年度青森県外国人相談窓口の相談状況について（実績報告）

About the Aomori Prefecture Foreigner Consultation Service Counter (Annual Report)

令和5年度の相談件数は、延べ498件であり、前年度の412件から86件の増加となりました。

相談員による母語相談の件数が多く、タガログ語、中国語の相談件数が218件と全体の約5割を占めており、日本語での対応も183件と昨年と比べ大幅な伸びとなっています。

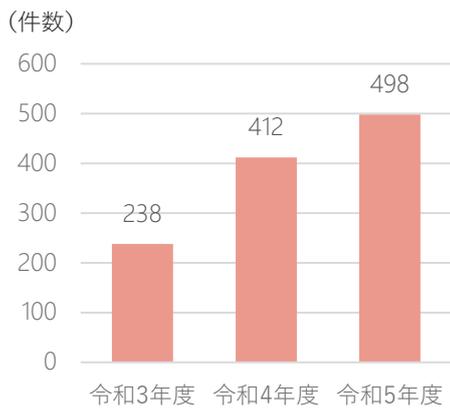
相談内容別では、「通訳・翻訳」と「入館手続」に関する相談が多く、1つの案件に複数回の対応が必要となり、相談が多様化、複雑化になりつつあると考えられます。

「住宅関係」で具体例を挙げると、ワーキングホリデーで青森に来たが、保証人を用意できないため住宅が見つからないという相談がありました。このケースでは、当相談窓口を通して、青森市役所や青森県社会福祉協議会など関係機関と相談し、「青森しあわせネットワーク」を利用した結果、住宅が決定し、問題を解決することができました。

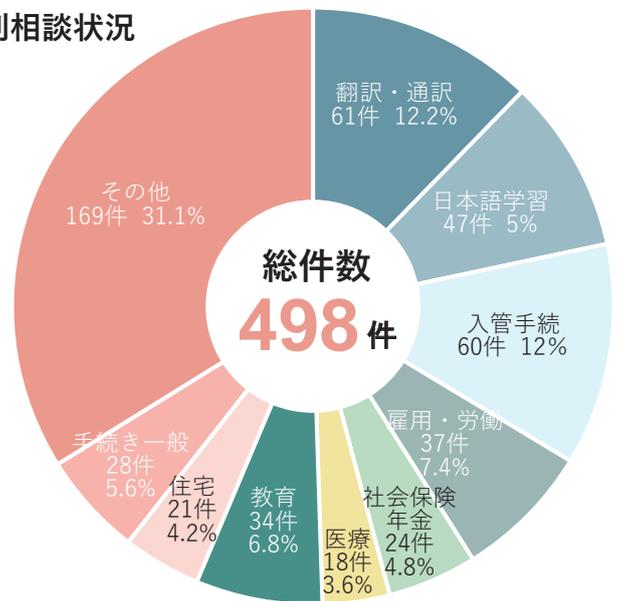


青森県外国人相談窓口
令和5年度相談対応件数

498 件



内容別相談状況



令和5年度ワンストップ相談会開催状況

開催回数

2 回

予約件数

6 件

02

国際交流サポーター（語学・ホストファミリー）の登録及び活動状況について（実績報告）

Registration & Activities of Interpreter Supporters and Host-families (Annual Report)

語学サポーター登録状況
（令和5年度末時点）

167 名

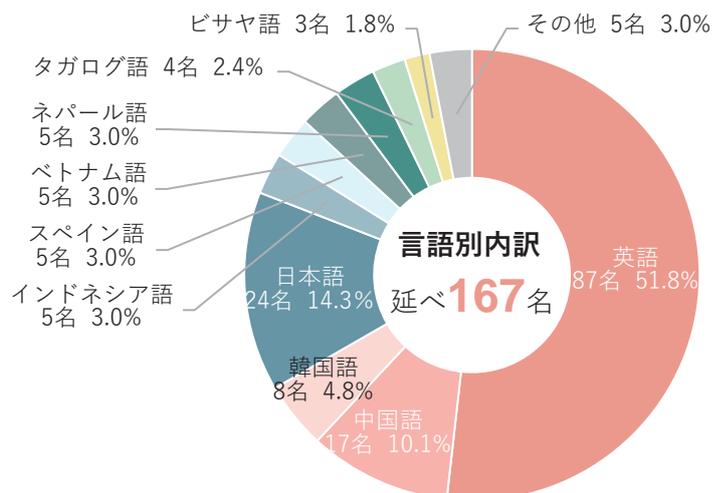
言語別登録者数内訳 ▶

ホストファミリー登録状況
（令和5年度末時点）

19 件

令和5年度活動状況

11 回



令和6年度青森県外国人相談窓口からのご案内 Information from the Aomori Prefecture Foreigner Consultation Service Desk

01 「ワンストップ相談会」開催のご案内

Information on One-Stop Consultation Service for Foreign Residents

出入国在留管理局、青森労働局、弁護士、行政書士、社会保険労務士の方々が同時に集まって対応する相談会です。青森市と八戸市で開催します。複雑に絡み合った困りごとについて一つずつ丁寧にアドバイスします。これまで、母国にいる子どもを呼び寄せるための自分の在留資格の手続きに関する相談や中古車購入に係る金銭トラブルについての相談などがあり、専門家のアドバイスを得て解決につながりました。日曜日に開催しますので、平日にお仕事をしている方もこの機会にぜひご相談ください。

開催予定

詳細は右記のQRにてご確認ください。



予約
必要

無料

年月日	時間 (予定)	場所	
6月16日 (日)	13:00 ~ 16:00	青森市	青森県観光物産館アスパム 5F 会議室

❖ 通訳を手配しますので、事前に相談言語をお知らせください。

02 おしゃべりサロンを開催します!

Information on Chatting-Salon

県内に住んでいる外国人のみなさんが気軽に集まって、おしゃべりしながら交流し、お互いの文化の理解を深めることを目的に開催します。日本の伝統行事や文化を体験したり、日本語を勉強したり、日常生活の相談にも応じます。皆様のご参加をお待ちしています。

無料
※内容により
材料費負担

予約
不要

令和6年度の開催予定

開催日時	毎月第2金曜日 (5月と8月はお休み) 10:30 ~ 12:30 ※内容により変更する場合があります。
開催場所	青森県観光物産館アスパム 2階 国際交流ラウンジ
テーマ	6月21日(金)/華道(生け花) 7月12日(金)/押し花 9月13日(金)/防災
募集人数	5名程度

03 国際理解講座「世界をのぞいてみよう～韓国・タイ～」を開催します

Lecture for Multicultural Understanding *South Korea & Thailand*

本県において年々外国人が増えています。少子高齢化などによる人手不足を背景に、地域の労働力や活性化の担い手として、外国人人材は欠かせない存在です。

青森県の経済と私たちの生活を支えてくれる外国人が暮らしやすい地域づくりのため、異なる民族、文化、生活などについて学び、お互いに理解・尊重し、共に生きることが大切です。

今回は、「世界をのぞいてみよう～韓国・タイ～」をテーマに、国際理解講座を下記のとおり開催します。皆様のご参加をお待ちしております!

開催日時

2024. **7/27** (土) **13:00~16:00**
会場：青森県観光物産館アスパム 4階 十和田

申込方法

QRコード
または
FAX ▶ **017-735-2067**

申込期限 **2024. 7/21** (日)



無料

どなたでも参加できます



～人生なんてきっかけひとつ～

JICA海外協力隊募集説明会開催

Recruitment Briefing of JICA Overseas Cooperation Volunteers

JICA海外協力隊ってどんな事業？

開発途上国からの要請（ニーズ）に基づいて、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣する、日本政府のODA（政府開発援助）予算により実施されるJICAの事業です。

何年くらい行くの？

原則2年間派遣されます。

対象者は？

日本国籍を持つ20歳から69歳までチャレンジができます。

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、開発途上国で現地の人々と一緒に生活をしながら、互いに学びあい、人づくり・国づくりに参加できる方を募集しています。

応募期間：2024.5/17(金)～7/1(月)

JICA海外協力隊2024年春募集説明会in八戸

2024.6/2(日) 14:00～16:00

会場：八戸ポータルミュージアム「はっち」シアター1

JICA海外協力隊2024年春募集説明会in青森

2024.6/8(土) 14:00～16:00

会場：青森スタートアップセンター（青森商工会議所会館1階）

募集説明会についてのお問合せ

(公社) 青年海外協力協会 JOCA 東北
(業務委託先)
TEL / 0223-36-9851
E-mail / boshu-tohoku@joca.or.jp

その他お問合せ

〒030-0803 青森県青森市安方1-1-40
青森県観光物産館アスパム2F 国際交流ラウンジ内
JICA東北デスク 阿部翔太
TEL / 080-3140-2129 FAX / 022-227-3090
E-mail / jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp

入退場自由
参加無料

AOMORI GOKAN アートフェス2024

AOMORI GOKAN Arts Fest 2024

2024年4月13日(土)～9月1日(日)まで、青森県内にある現代美術を楽しめる5つの美術館・アートセンター（青森県立美術館、国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館）を中心に、「AOMORI GOKAN アートフェス2024」が開催されています。

5つの美術館・アートセンターの連携は2020年よりスタートし、県民や観光客が青森のアート体験とともに地域の周遊を促す「5館が五感を刺激するーAOMORI GOKAN」プロジェクトを発信してきました。この度、5館それぞれがプログラムを企画する、新しい形の「アートフェス」が始動します。

2024年度は「つらなりのはらっぱ」というテーマのもと、各館の特徴を活かした展覧会やイベントが開催予定です。

県内のアートをきっかけに、各地域の自然や食、建築などの豊かな文化に触れることで、青森の魅力を是非発見してみてください。

青森県立美術館



八戸市美術館



弘前れんが倉庫美術館



十和田市現代美術館



国際芸術センター青森



県内の日本語教室 ※ご不明な点などがありましたら、直接団体にお問い合わせください。

地域	団体名	電話番号	E-mail
青森市	青森日本語クラブ	017-782-1171	aomori.nihongoclub@gmail.com
	国際文化交流クラブ (ICEC)	090-7660-1583	potlucksmore@yahoo.co.jp
	日本語学習支援「青い森」	090-3360-6541	yuyu64asayu@gmail.com
弘前市	弘前日本語クラブ	090-4049-0057	hnc1900@yahoo.co.jp
	弘前日本語ティールーム	090-5842-0672	hirosakinihongotearoom@hotmail.co.jp
	一般社団法人 国際にほんご教育センター (IJEC)	0172-38-7707	i.nihongo.e.c@ijec.jp
	NPO法人 ひろだい多文化リソースルーム	0172-30-9145	info@hirodaimrr.or.jp
八戸市	NPO法人 みちのく国際日本語教育センター (MIJEC)	080-6051-3109 080-6026-3109	michinokunihongo@gmail.com
三沢市	みさわ国際交流協会	080-6022-1349	misawa.mia@outlook.jp
六ヶ所村	国際教育研修センター 日本語教室	0175-73-8575	rokkasho.lounge@gmail.com
おいらせ町	特定非営利活動法人 たすけあい・さわやか青森	0178-52-8067	sawayakaaomori@yahoo.co.jp
南部町	南部町国際交流センター	0178-38-5961	noson@town.aomori-nanbu.lg.jp

弘前日本語ティールーム

日本語を学びたい外国人に、無償で日常生活に必要な会話、習慣やマナーなどを教え、快適で住みやすいまちづくりに貢献します。

内容	テキスト（みんなの日本語、ほか）を使った日本語学習及び日本の文化や習慣、マナーなどの学習 学習者のニーズに合わせてマンツーマンで学習	
時間	毎週水曜日10:30～12:00	※学習場所・時間は学習者の希望で設定可能な場合があります。
場所	ヒロロ3階市民参画センター内	
料金	無料	

❖ お問い合わせ先 弘前日本語ティールーム
E-mail : hirosakinihongotearoom@hotmail.co.jp

国際交流ラウンジ International Lounge

〒030-0803
青森市安方1-1-40 青森県観光物産館アスパム2F
ASPAM BLDG. 2F. 1-1-40. Yasukata, Aomori-shi. 030-0803
TEL : 017-718-5147 FAX : 017-735-2067
E-mail : lounge_supporter@aomori-kanko.or.jp

※国際交流ラウンジカウンター／外国人相談窓口

受付時間／10:00～17:00
休日／毎週日曜日・月曜日
年末年始 (12/31～1/3)、2024/2/23～2/24

編集・発行 Publisher

公益社団法人青森県観光国際交流機構
国際交流グループ
〒030-0803 青森市安方1-1-40 青森県観光物産館アスパム8F
TEL / 017-735-2221 FAX / 017-735-2067
E-mail : info_kokusaikoryu@aomori-kanko.or.jp

当機構への
アクセスは、
右記QRから
どうぞ！

HP ▶



Facebook ▶

